



浅間山麓
未来への遺産
Vol.82

噴火災害の
復旧を刻む碑
いしぶみ

血の池の脇に立つ天明4年の石祠。噴火災害復旧碑で、小田井村とある。

さる2月2日の浅間山噴火による火山灰は、遠く東京や横浜でも確認されたという。上空を偏西風が吹いているために噴煙が東に倒れるからだ。

今から200年以上前の江戸時代天明3年(1783)には、数百年に一度という想像を絶するような噴火が起きた。俗に言う「天明の浅間焼け」としてご存知の方も多いだろう。

その時の溶岩は鬼押し出しとして北麓を覆い、現在の嬬恋村鎌原には土石なだれが押し寄せて、村人400名以上が犠牲になった。さらに、泥流による被害は、群馬・埼玉・東京にまで拡大し、総数1,500名ほどの犠牲者が出たという。

長野県側の死者は1名のみにとどまったが、火山灰や軽石などの降下による被害は甚大であった。

浅間山中腹に端を築き田畑を潤す濁川(総長17km)もこの時軽石で埋もれてしまい、小田井や前田原村の農民は、その生命線を立たれた。人びとは自らの手では到底なしえない復旧工事に、お上の力にすがるとはなかつたが、当初幕府の態度は冷淡なものであった。人びとはめげずに不眠不休で嘆願し、ようやく用水路の復旧がかなったのである。

血の池の脇にある石の祠は、その復旧工事が完了した翌年の天明4年に建てられた。今では何事もなかったように、ひっそりと佇んでいる。



天明3年に噴出した鬼押し出し溶岩流

フォーラム
東山道・塩野牧・佐久郡衙
エコールみよた あつもりホール
3月28日 午後2時～

(広告欄)

www.minebea.co.jp

世界最小サイズの超極小ボールベアリング出来ました!

ミネベアは外径1.5mmのボールベアリングの製品化に今年1月成功しました。このベアリングは、医療機器、マイクロモーターやマイクロマシンの駆動部分など、従来のボールベアリングでは対応できなかった分野への活用を提案していきます。超精密加工技術であなたの暮らしを支えるミネベアです。

米粒と比較してみました!

シャープペンシルと比較してみました!

Minebea
ミネベア株式会社 ●本社・軽井沢工場 / 〒389-0293 北佐久郡御代田町大字御代田4106-73
TEL.0267-32-2200 FAX.0267-31-1350 http://www.minebea.co.jp